

生産現場へのAI導入とその課題

AI（人工知能）などのデジタルツールの利活用によるものづくりは、産業の高度化（例えば、新たな商品・サービスの創出、生産性向上・労働力不足緩和、経営の改善など）につながるとされています。そこで本セミナーでは、AIの基本的な概要解説と様々な製造現場におけるAIの導入事例の紹介を行います。

受講料無料

日程：令和5年（2023年）**11月22日(水) 13:30～16:50**（13:05より受付開始）

会場：滋賀県工業技術総合センター 2F 大会議室

定員 30名

講演1：**13:35-15:05**

AI時代には知っておくべき知識 - AIの概要

阮翔氏【株式会社tiwaki 代表取締役】

自己紹介 1997年中国上海交通大学卒。2004年大阪市立大学で博士号を取得。2007年オムロン株式会社に入社。コンピュータビジョン分野で、約25年の研究開発経験を持ち開発者。世界トップレベルの学会・学術誌での論文発表50件以上、総被引用数9000以上。特許50件以上（国内、国際、出願中を含む）。2016年オムロン株式会社を退社後、株式会社tiwakiを設立。立命館大学客員教授。

講演内容 本講演では、これまでの人間社会で起こったAIブームの歴史から現在のAIの基盤技術までについて基本的な知識を紹介します。さらに、ビジネスの観点からAIを活用する際に注意すべき点を説明します。また、様々なビジネスドメインにおけるAIの応用やアプリケーションも紹介します。

講演2：**15:20-16:50**

製造現場によるAIの活用 ～用途に合わせた最適なAI活用のカタチ～

黄波戸 信治氏【株式会社たけびし ソリューション開発部 オリジナル商品課 課長】

自己紹介 2004年新卒で入社後、ソフトウェア開発技術者として、シーケンサを用いた制御システムの開発や、PCでの監視システムの開発に従事。2006年からは自社製品開発部隊に移り、国内で初めてOPC UAサーバーの市販パッケージ製品を開発。近年はAI技術を社内活用・普及促進の業務に従事し、AI製品開発やサードパーティのAI製品取扱を推進。

講演内容 製造現場にあるデータをどのように効率よく収集するのか、そして、収集したデータをどう活かすか。また、どのようにシステム化していくのか、ユースケースと事例を交えてご紹介します。

申込み：以下のホームページの申込みフォームからお申込みください。

<https://www.shiga-irc.go.jp/info/news/>

（参加者の名簿は講師にお渡しいたしますので予めご了承ください。）

申込締切：令和5年11月15日(木)

問合先：滋賀県工業技術総合センター 大坪・野上・山本(典) Tel.077-558-1500

主催：滋賀県工業技術総合センター、ものづくりIoT研究会(公益財団法人滋賀県産業支援プラザ)